

# 季刊 まち・コミ

2015年 冬号

● インフォメーション ● <http://park15.wakwak.com/~m-comi/>



宮城県石巻市雄勝町 波板地区会

## 小さな集落のまちづくりへの挑戦

～第32回御蔵学校 報告～

東日本大震災から5年。防災集団移転促進事業での高台造成が次々と完成しています。完成後は震災前よりも戸数が減少する石巻市では、48地区中16地区が10戸未満の集落になります(2015年5月25日河北新報「石巻・半島部 集落存続危機」より)。

そのような中どのような地域作りが考えられるのか。宮城県石巻市雄勝町波板地区会の青木甚一郎さんに神戸までお越しいただき、「小さな集落のまちづくりへの挑戦」というテーマでお話頂きました。



震災直後から毎日、内陸の避難先から40分かけて自分達の地区波板へ、地区を復興させるため通っていた。避難先の近くの仮設住宅に入ってからほぼ毎日通っている。

**がれき撤去を自分達で！**

雄勝町の中でも私の集落が一番小さい集落なので、行政に対し最初に入って早くやって



2012年5月5日の波板地区

くれというのは難しい。何事も小さい集落が一番最後。大きいところに最初に入っていれば仕方がないと思うだろうが、小さいところに最初に入るとなぜと行政はたたかれる。それを行政にどうのこうのといっても仕方がない。自分たちで協力者を見つけないと仕方がない。

それで、2011年5月に、「集落に入りがれき撤去をしてもらえないか」と協力者を探していた。5月30日に石巻市社会福祉協議会から電話をもらって、ボランティアによる活動は6月2日から始まった。8月のお盆前ぐらいにはがれき撤去ができた。多いときでバス2台80人ぐらいきてくれた。がれきは集落の高台の今建っている交流センターの場所まで、300mの登り坂を軽トラックで運んだ。重機を入れずに手作業で積み、おろすのも手作業。のこぎりとか金槌は、震災前にあった

がすべて流されていた。

集落に来て、お墓参りにきた人が休むところがなかったが、2014年6月に波板地域交流センターもできた。今は、当時の瓦礫をとってくださったボランティアにお礼状を出したいと思い、知り合いを頼りながら、来てくれた人の連絡先を聞いている。もう波板にいても手伝えることがないという人もいるが、いちばん大変だったときに助けてくれたボランティアに、交流センターに来て欲しい。

#### 震災前から、できることの始まり

震災前から“地域づくり”という名前ではなく、住民自らができることを考えて、地区のいろんな行事や過疎対策（買い物・医療等）をやってきた。

震災後も、波板を訪れる人は波板にゆかりのある人なので、難しい話をやろうとかではなく、地域をみんなが居心地よくするところからやろうと。これからがんばって、地域に休める場を作ろうとした。

#### 被災した地域で休める場づくり

##### ～地域交流センターづくり～

がれきの処理が終わった後、浜に残った家を補修しながら、休憩でき集える場づくりをやっていた。補修を進めていた2012年の暮れ、兵庫県の復興基金を使って集会所を建設できるという話があり、応募したら採択された。採択されたと聞いたときはまさかと思った。震災後はたった4世帯の小さな集落になったから無理だと思っていた。

応募用紙に文章を書いて、こうなればいいなという感じで、宮城県に提出した。見落とされていたが添付に立面図を書くことになっていて、描いたことがない。そこで、来て下さっ



地域交流センター

ていたボランティアに2級建築士の資格取得者がいたので「これを起こしてくれ」とその人に、時間も迫っていたので手書きで描いてもらった。建設費予算は2500万円の小規模タイプもあったが、どうせはずれるなら大きい方で5000万規模の方で出した。準備の時から、きれいな感じでやっているわけではなく、変わったじじいたちが、変わったことを実行している。採択後は、建築等の専門家や地元の工務店にも協力してもらい建設を行った。

完成した今は、管理人は私（青木氏）がやっている。集落の5人が鍵を持っている。平日働いている66歳の人も、毎週1時間かけてやってきている。アボなしで誰かが来るので、誰かがあけておこうということにしている。営利目的ではないので、何時から開いているという状態ではない。女川町から雄勝町までの間の国道上にトイレがない。利用者はトイレの利用が一番多い。そういうことも、県の採択要因にもなっているのだから、閉めるわけにはいかない。とりあえず誰かがあけておけば、トイレは使ってもらえる。いずれ運営費の課題は出てくる。利用に関して自分たちだけではなくて、隣の集落の人たちとも一緒にやっていきたい。自分たちの趣旨は隣の集落にも話はして、隣の集落の人々も現在は40～50分離れたところの仮設住宅に住んでいるが、交流センターを利用している。

地域交流センターは、基本的にボランティアや調査を目的としたような団体・学生が頻繁に利用してくださっている。営利を目的としていない人たちには安く泊まってもらうが、それ以外は、民宿などに泊まってもらっている。

#### 集落の持続性のために

石巻市では48地区中16地区が10世帯以下になる。住民が激減すると、集落を維持する費用も負担が大きくなっていく。そのために地域資源を活かした商品を、自分達で売っている。これまでは、売るよりは、自家消費と親戚に送るくらいだったが、集落維持のために、これからは違う方法も考えていか



ないといけないと取り組んでいる。売上げの半分は地区に、半分は作った人に渡している。ほかには、生活の利便性（買い物、医療等）等の課題がある。

自分たちがそこに住むのであれば、最低限の地区の決めごとは守っていかない集落として成り立たない。高台が完成し転出している住民が、地区に戻ったときにやりたいことを少しずつ先取りして準備している状態だ。

### 海水浴

雄勝町は漁村が多いが、波板地区には珍しく、海水浴場がある。震災後はライフセイバーや水質検査などの対応ができず、海水浴場として認められている場所ではない。そこで、「浜で遊びませんか？」という感じで、再開しています。ライフジャケット30着無料貸し出しをしていて、ライフジャケットを着用しない人は使えないという形になっている。

かき氷の機械を購入し、今年で2年目。利益率はいいけど、みんな自分の知り合いだとかが訪ねてきたという、懐かしくて、お代はいらないという形が多い。それはそれで、地域のコミュニティみたいな形だから初めのうちは良いのではと思っている。



海水浴場

### 漁業体験ツアー

漁業体験ツアーをしていて、都会の人には、つぶ、やどかり、かにが人気。籠を仕掛けておいて引き上げている。いずれは漁師との連携も考えている。

### 波板石

波板地区では、玄晶石（波板石）を採掘す

る許可を取っている。玄晶石を利用していろいろな製品を作っている。地区の玄晶石を通じた繋がりを広めるために、東北大学の若い先生たちから意見を頂き、冊子づくりをやっている。

梅シロップや梅干し、とろろ昆布なども、配布している。売ると保健所などが関わってくるが、ほしいという人に分けたりしている。地区の住民の誰もが、自分の所有する資源と特技を活かして何かを開発している。



波板石でつくった硯

現在、高齢化率は70パーセント以上あって、今は限界集落で高齢者の規定でいうと97~8パーセント、100パーセントと言ってもいい。私たちはこの先何十年も生きるわけではない。公営住宅が空き家になればどうするか。雄勝の人口が少なくなって、戻ってきた人たちの高齢化を考えると、地区に貸してほしいというか、バンガローみたいな形で利用できればとも思っている。兵庫県の支援で建てた交流センターは大事に使えば30年、40年持つ。そのための基礎は今のうちに整えておきたい。

.....  
波板地域交流センターのお礼に兵庫県を訪れ、波板石の硯を手渡しました。改修工事中の兵庫県公館を訪れ、屋根に使用されていた雄勝石について、話しが盛り上がりました。



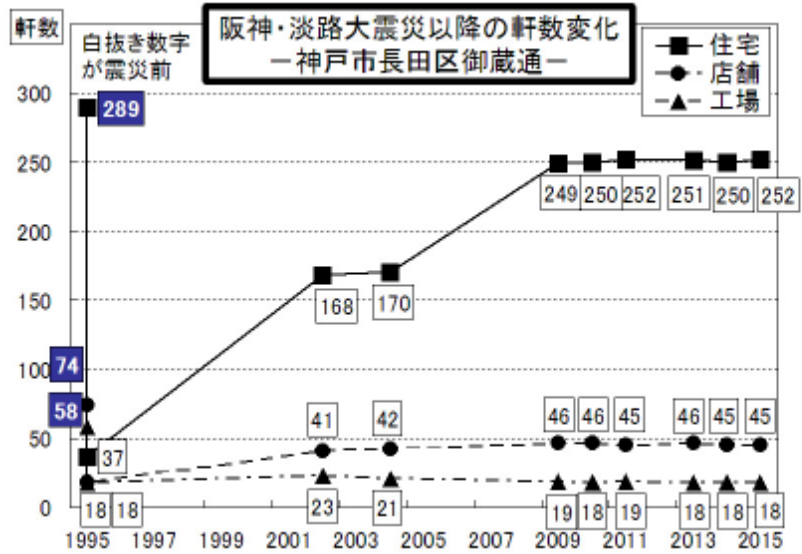
# 御菅西地区再建状況 ～阪神・淡路大震災から21年～

まち・コミでは、震災後のまちの変化を把握するため、地域再建調査を継続して行っています（参考資料）。今回は、2015年10月27日に調査しました。

人口は震災前の8割ですが、世帯数の約3分の2は、震災後から御菅西地区で住まれている新住民です。店舗と工場は、一度地区外に出てしまうと増えない傾向にあります。

昨年度との変化では、住宅は1軒新築され、1軒が（震災前のものを）建替中、店舗は、5軒（45軒中）入れ替わりました。

震災前（1995年1月）



今回の調査（2015年10月27日）



建て替えが行われている住宅



御菅西地区とその周辺

参考資料 過去の調査結果はインターネットでご覧いただけます。

阪神・淡路大震災からの復興の状況の記録

<http://machicomi.blog42.fc2.com/blog-entry-594.html>





1月17日(日) 早朝からお待ちしております

阪神・淡路大震災の発生から21年を迎えます。

まち・コミスタッフ一同、午前5時46分を慰霊の気持ちで御蔵北公園(まち・コミュニケーション御蔵事務所のすぐ南)にて迎えます。その後、6時ごろからは事務所内にて、震災を語り、まち・コミに関わるみなさまの交流の場を考えております。

また、チラシでご案内しておりますとおり、1月17日に「第34回御蔵学校」を開催いたします。お集まりくださった方々と共に、阪神・淡路大震災を学び、今後の災害について考え、備える日にしたいと思いますので、ぜひご参加のほどよろしくお願いいたします。

ご都合がよろしければ、ぜひお越し下さいませ。



2015年1月17日午前の慰霊法要



2015年1月17日の御蔵学校

## 大地のつぶやき

〈 陳舜臣さんの思いに託したい 〉

今年一年は陳さんに始まり、陳さんに終わりたいと思う。私にとっても神戸にとっても、誇るべき大家であり大恩人でもある。震災一週間後の神戸新聞一面トップに「神戸よ」で訴えられた神戸を愛する切々たる情念は読者の心を打ち、大いに励まされた。まさに神戸の良心であり、慈父と言っても過言ではない。

「陳舜臣アジア文藝館」では「NHK映像ファイルあの人」に会いたい陳舜臣さんのビデオを流している。僅か十分余であるが真実を伝え、これからの世界のあり様を語っておられる。そこには「大同」と言う精神を説く。人間は民族や文化、宗教の違いを超えて共存出来る。ぶつかり合って困難を伴うが、しばらくすると素晴らしいものが出来てくると深く歴史を考察して語っておられる。

国籍を離れて人倫のためにと強調される。自分は日本の国籍を取ったが、日本の中においても中国的なものは残しておきたい。そこから日本人も中国を、歴史を学べと言っていることだろう。国籍や民族にこだわらず地球人として生きようと諭されている様に思う。モンゴル帝国の滅亡を内部崩壊として、力をもって力を制するといずれ力で滅ぼされると語られる。

今、世界でテロが頻発している。欧米露はこれに対して力をもって対抗している。無人機やミサイルによる爆撃はISに無関係な無辜の市民が犠牲になっている。近代戦はより多くの市民を巻き添えにする。こんな悲しいことはない。一方北京の大気汚染、赤色警報も連日で三億人が影響とある。いずれこの地球も百億人の人口に近づく。その食料や水やエネルギーは賄うことが出来るのか。日本を始め世界各地で自然災害が多発している。弱肉強食の世界であっていい筈はない。不条理な死は遠ざけねばならぬ。地球は一つしかない。今こそ問題を先送りすることなく「大同」につく人間の叡知に期待したい。

株式会社兵庫商会 田中保三

# まち・コミ活動報告 9/1 ~ 11/30

- 9/1【地域支援】上釜地区(宮城県石巻市) 10/5【研修受入】墨田区議会議員 11/5【地域支援】上釜地区(宮城県石巻市) 内閣府地区防災計画モデル事業事務局
- 9/8【復興支援】神戸大学被災地アンケート 10/10【勉強会】第32回御蔵学校 11/7【地域交流】出石市民農園
- 9/11【研修受入】岩手NPO復興まちづくり相談 10/17・18【地域交流】出石市民農園黒大豆枝豆収穫 11/15【地域支援】上釜地区(宮城県石巻市)内閣府地区防災計画モデル事業事務局
- 9/19【復興支援】大反省会(濱畑)in河北町ビックバン 10/19【研修受入】北陸学院大学 11/19【震災学習】倉敷市立多津美中学校
- 9/20【地域支援】上釜まとめ 10/23【震災学習】愛知県立春日井高校 11/22【勉強会】第33回御蔵学校(講師井若氏、コーディネーター 堀井氏)
- 9/26【調査研究】日本災害復興学会分科会 10/24【講師派遣】東日本大震災の被災地の現状(神戸市立地域人材支援センター) 11/23【地域交流】出石市民農園
- 9/27【研究調査】日本災害復興学会出席 10/31【講師派遣】「石巻旧十五浜 被災集落の流動的居住とその行方」建築学会 in 波板 11/24【研修受入】神戸大学大学院国際協力研究科
- 10/4【研究調査】徳島大学 11/5【研修受入】健康住宅をつくるネットワーク(石巻市) 11/26【地域支援】上釜地区(宮城県石巻市)内閣府地区防災計画モデル事業事務局

## ご支援ありがとうございました。9/1~11/30(新規・継続)

順不同・敬称略

- 【正会員】井上赫朗(東京都) 田中保三(兵庫県) 櫻井朝教(長野県)
- 【賛助会員】吉川忠寛(東京都) 大谷良心(奈良県) 越山健治(京都府) 大久保洋子(兵庫県) 全国中小貿易業大阪連盟(大阪府) 岡本誠(兵庫県) 芦田英機(大阪府) 五十八亭ふすま丸(埼玉県) 入口方(兵庫県) 直田春夫(大阪府) 川村武也(兵庫県) 熊谷博子(東京都) 宇都彰浩(宮城県) 黒崎浩行(東京都) 万波一郎(東京都) 河野睦宏(岐阜県) 山下恵子(兵庫県) 鎌田啓通(徳島県) 有馬嗣朗(山口県)
- 【寄付】大谷良心(奈良県) 越山健治(京都府) 桜井愛子(宮城県) 佐藤正子(宮城県) 鈴木八重子(兵庫県) 渋谷ちしゅう(東京都) 高尾明典(岡山県) 堀井秀知(徳島県) 櫻井朝教(長野県) 船越洋平太(京都府) K O B E ビタバカードポイント寄付
- 【購読会員】前原博(大阪府)
- 【協力】社団法人シャンティ国際ボランティア会(東京都) 株式会社兵庫商会(兵庫県神戸市) 味六亭(宮城県石巻市)

## 会員募集中!

当団体へ賛助会員年会費とご寄付をくださった方は、寄付金控除等税の優遇措置を受けることができます。(正会員と購読会員は含まれません) 認定NPO 法人への寄付者に対する優遇措置です。

さらに活発な活動を行うため、会員を募集し、資金面でのご支援をいただいています。

また、会員は1年更新とさせていただきます。現在会員の方も時期がきましたら、更新をお願いいたします。(期限は「季刊まち・コミ」郵送時の封筒の、宛名ラベルに記載していますのでご確認ください。)

### 会員種別

#### 賛助会員

当法人の事業を、会員として賛助してくださる方  
年会費：5,000円(学生3,000円) 総会議決権：なし  
正会員

当法人の目的に賛同し、ご入会くださる方  
年会費：10,000円 総会議決権：あり

入会申込書のご提出をお願いしております。

#### 購読会員

当法人発行の「季刊まち・コミ」購読希望の方  
年会費：3,000円 総会議決権：なし

編集後記 12月に入り、マスコミの方々から1月17日に関するお問い合わせが増えていきます。今年迎えた震災20年が区切りではなかったと実感。(戸)

### お振り込み先

名称 特定非営利活動法人まち・コミュニケーション

#### 【郵便振替】

口座番号 00950-3-42788

#### 【三井住友銀行・長田支店】

普通口座 7669623

ご寄付もよろしくお願いたします

2015年12月1日発行 no.13

編集 / 発行  
認定特定非営利活動法人  
まち・コミュニケーション



事務所 〒653-0014  
兵庫県神戸市長田区御蔵通5-211-4-101(みくら5)  
TEL 078-578-1100 / FAX 078-576-7961

東北出張所 〒986-0859  
宮城県石巻市大街道西1-14-101 味六亭 相澤様方

e-mail m-comi@bj.wakwak.com  
URL <http://park15.wakwak.com/~m-comi/>

ホームページからバックナンバーをご覧くださいませ